

竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

あみだぶ とこえとな
阿弥陀仏と十声称えて まどろまん ながきねむりに なりもこそすれ

これは、浄土宗の開祖法然上人の詠まれたお歌です。「南無阿弥陀仏と十声お称えて眠りましょう。この眠りが永遠の眠りとなるかもしれませんから」という内容です。

3年前の3月、お昼すぎに出先から帰ると、施設にリハビリに行っていた妹が、体調不良で早めに帰宅していました。それほど発熱もしていませんでしたが、念のために近くのお医者さんに看てもらってお薬をいただきました。夜11時すぎに父から、熱が上がってきたので、明日もう一度病院に連れて行こうと話して、その日は眠りに就きました。翌朝4時過ぎに父から携帯電話で、妹の様子がおかしいという連絡があり、すぐに部屋に行くと、妹はすでに冷たくなっていました。なんともあっけない別れで、自分の悲しみはもちろん、娘を亡くした父の悲しみや悔しさを思うとなんともいたたまれない気持ちでした。妹と最後に交わした言葉は何だったのか、思い出すことはできません。まさか、それが最後のことばとなるとは思ってもいけません。生きていくということは決して当たり前ではないということを悲しみとともに痛切に思い知らされました。

南無阿弥陀仏は、阿弥陀仏の名前を呼ぶ声です。阿弥陀仏の誓いによって、この世と死後の世界をつなぐ声となり、逝ってしまった人と残された人をつなぐ声となります。法然上人のこのお歌は、最後までこの声を出しつづけたという気持ちを詠われたものであり、いつ命が尽きてもという覚悟を示されたものだといえるでしょう。

明日の朝も、今朝と同じように「おはよう」と起きることができるとは限りません。寝る前に手を合わせて祈り、そして明日、目を覚ますことができれば、ありがたいという感謝の気持ちで祈りましょう。

介護力向上を目指して

特養 副主任 喜田栄子



竜雲舜虹苑では、平成24年度より自立支援に向けて

① 水分を1日1,500ml(目安)飲んで頂く

② ご飯を常食で1,500kcal召し上がって頂く

③ 日中活動量を増やす(リハビリ・余暇活動)

④ おむつゼロ、トイレでの排泄(自然排便)を勧める

という基本ケアに重点を置いて取り組んで来ました。4つのケアを行うことで身体機能を活性化させ生活リズムを整え、利用者様が生活の中で活かせる力を増やし生活の質の向上に繋がっています。

利用者A様は入所前はベッド上で寝たきりの状態で生活されていきました。本人様、御家族様にも相談しながら4つの基本ケアを実施しました。

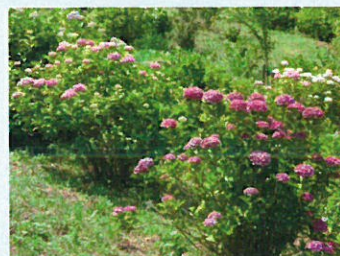
まずは食事・水分量アップを目的としてベッドから食堂へ出て来ることから、食事は義歯調整を行った結果、咀嚼が出来るようになり、ソフト食から常食を食べるようになりました。また、日中の活動量アップすることで座位姿勢が良くなり排泄面も改善され日中はおむつをしていません。午後からは余暇活動としてホールで趣味の編み物を始めました。

自宅では1日をパジャマで過ごされていたA様ですが、最近はお家族様がおしやれなブラウスを購入して下さり、A様も大変喜ばれていました。

A様の目標は自宅に一時帰宅することです。A様の目標が達成できるように今後も基本ケアに取り組んで行きたいと思えます。



行事紹介



勝名寺へあじさい見物



仏生山小学校5年生訪問



おやつ作り



イベント食(天ぷら)



法話

第22回 竜雲舜虹苑

地域交流 夕涼み会

日時.. 8月20日 日曜日 17時30分

20時00分

場所.. 竜雲舜虹苑駐車場

※雨天時は室内

☆食品バザー、新メニュー登場

☆新しいゲームや慰問もお楽しみに!

社会福祉法人竜雲学園
竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム
短期入所サービス
通所介護サービス
認知症型通所サービス
訪問介護サービス
老人介護支援センター
ケアハウス



実習生が来られました

高松南高校福祉科より佐々木真衣奈さん、入谷明莉さん、大塚康平さんの3名の生徒さんが実習に来られました。



入谷さんは、利用者様に余暇でハンドネイルを実施しました。避難訓練や炊き出しも積極的に参加し貴重な体験ができた15日間でしたと感想を述べられました。今回実習で経験した事、学んだ事を忘れず思いやりのある介護ができる人になって頂きたいと思えます。

